

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 22.2.19 第 174 回国会第 1 号

2月19日、第1回の委員会が開かれました。

## 1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。  
理事 石津政雄君(民主)(理事石川知裕君去る15日委員辞任につきその補欠)

## 2 国政調査承認要求に関する件

- ・以下の事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。
  - 農林水産関係の基本施策に関する事項
  - 食料の安定供給に関する事項
  - 農林水産業の発展に関する事項
  - 農林漁業者の福祉に関する事項
  - 農山漁村の振興に関する事項

## 3 農林水産関係の基本施策に関する件(畜産問題等)

- ・赤松農林水産大臣、山田農林水産副大臣及び佐々木農林水産大臣政務官に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

となって取り組むべきではないか。

### 仲野博子君(民主)

- ・今後の畜産・酪農に対する所得補償制度の導入に向けた検討スケジュールについて農林水産大臣はどのように考えているか。
- ・加工原料乳生産者補給金制度について、生乳の再生産確保と生産意欲の向上、生乳生産基盤の確保の観点から、補給金単価及び限度数量を維持すべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えているか。
- ・酪農ヘルパー利用拡大推進事業の平成22年度以降の取扱いを含め、ヘルパー側、酪農家側の両面からの支援を充実させていくべきではないか。

### 道休誠一郎君(民主)

- ・現行の黒毛和種子牛に係る経営安定対策が3段重ねになっており、分かりにくいとの現場の声について、農林水産副大臣はどのように考えているのか。
- ・平成21年度で終期を迎えるマルキン事業(肉用牛肥育経営安定対策事業)及び補完マルキン事業(肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業)の見直しに当たり、生産者の負担の増加や支援水準の低下を招かないようにすべきではないと考えるが、農林水産副大臣はどのように考えているか。
- ・国産畜産物の輸出促進に向けて、安全・安心の優位性を活かしながら日本基準を世界基準化できるよう官民一体

### 江藤拓君(自民)

- ・黒毛和種子牛対策について、子牛生産拡大奨励事業及び肉用子牛資質向上緊急支援事業を統合の上、肉用子牛生産者補給金制度の保証基準価格を生産コストを賄える水準まで引き上げるべきではないか。
- ・配合飼料価格安定制度について、平成21年度の実施に係る借入金の償還について支援が必要と考えるが、農林水産副大臣はどのように考えているのか。
- ・平成22年度予算案に計上した米戸別所得補償モデル事業の交付単価の変動部分を畜産・酪農対策に振り向けるべきと考えるが、農林水産大臣はどのように考えるか。

### 坂本哲志君(自民)

- ・飲用乳と加工原料乳の価格差や、北海道と都府県の地域差がある中で、酪農における所得補償制度の在り方について、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・平成22年度予算案では学校給食用牛乳等供給推進事業が減額とされているが、飲用乳の消費拡大にどのように取り組んでいくのか。
- ・飼料自給率向上の観点から、地域に適合した畜産の展開や、粗飼料を中心とした畜種の育成が重要であることにかんがみ、褐毛和種に対する様々な支援策を講じていくべきではないか。

### 伊 東 良 孝君(自民)

- ・予想外の需給変動に対応するため、国や生産者、乳業メーカー等関係者が一体となって乳製品保管販売体制の構築を検討すべきではないか。
- ・平成 22 年度予算案で強い農業づくり交付金が減額されているが、飼料自給率向上に資する草地改良や TMR センター等の施設整備に与える影響について、どのように考えるか。
- ・酪農ヘルパー制度について、技術や資質の向上を含めてその充実を図るべきではないか。

### 石 田 祝 稔君(公明)

- ・肉用子牛生産者補給金制度の黒毛和種における保証基準価格が平成 2 年度からこれまでほぼ同水準の価格となっているが、繁殖経営の再生産を確保できるよう引き上げるべきではないか。
- ・養豚対策について、調整保管の実施時期はいつまでか、

また、養豚の経営安定対策について、生産者負担割合の見直しを含め、全国統一の対策とすべきではないか。

- ・配合飼料価格安定制度について、配合飼料価格が高止まりしている場合においても補てんが可能となるよう見直すべきではないか。

### 稲 津 久君(公明)

- ・加工原料乳生産者補給金制度についてどのように評価しているか。また、平成 22 年度の補給金単価・限度数量を現行以上とすべきと考えるが、農林水産大臣はどのように認識しているのか。
- ・平成 21 年度に終了するチーズ・液状乳製品等への生乳供給拡大を支援する生乳需要構造改革事業について、継続の要望が強いが、どのように対応するのか。
- ・国産チーズの供給拡大を図るため、平成 22 年度予算案に計上した国産チーズ供給拡大・高付加価値化対策事業に加え、更なる対策を構築する等の総合的対策を講じていくべきではないか。

#### 4 平成 22 年度畜産物価格等に関する件

- ・石津政雄君外 3 名(民主、自民、公明、社民)から提出された平成 22 年度畜産物価格等に関する件の決議案について、提出者石津政雄君(民主)から趣旨説明を聴取しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
- (賛成 民主、自民、公明、社民、石川知裕君(無))
- ・赤松農林水産大臣から発言がありました。

#### 5 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・赤松農林水産大臣から所信を聴取しました。
- ・平成 22 年度農林水産関係予算の概要について、山田農林水産副大臣から説明を聴取しました。